
栞

たら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

栞

【Nコード】

N4488BA

【作者名】

たら

【あらすじ】

最近図書館に通っている。図書館なんて一番似合わないような俺が。
+誰もいない放課後の図書館でのお話

「紙…?」

紐には白い紙がくつついていた。無地の。見つめていると…

「あ、先輩やつと起きたん…ってああー!!ちよつと!!それ!」

「おー。何だよこれ」

「馬鹿じゃないですか!?いや、馬鹿ですよね!先輩前から思ってたんですけど馬鹿なんですよね!？」

馬鹿と三回も言われた。全くこの後輩は失礼だな。

「馬鹿馬鹿言われると俺、傷付くかもよ?」

「もう傷付いて下さい!傷付きまくって下さい!!…つとに…どこまで読んだっけ?」

ああ。そういう印だったのか。

「あーった。ここだ!先輩それください」

「はいよ」

「ふう…もう、勝手に外しちゃ駄目ですよ!」

「すみません。…それ、ずっと使ってるの?」

「いえ。私決まった栞とか持ってなくて。でもほら、紙に紐付ければそれっぽいでしょ!」

「手作りなの?」

「いえ、拾い物ですけどね」

「なーんだ」

「さて帰りましょう!」

「俺起きるの待っててくれたの?」

「ちつがいますよ!!そろそろ帰ろうと思っただけで…」

「そつか。あれ、本読破するんじゃないの?」

「意外にこの本手ごわかったんですよ。だからまだかかりそうです。この栞にもまだお世話になりますね」

「ふーん…あ、ちよつと駅前の本屋さん寄って良い?」

「良いですけど…あ、やつと先輩も本に興味が出てきましたか!それは良いことです!早く行きましょう!」

…最近、放課後は図書室に行っているから遊んでいない。少し余つ

ているお金を人にプレゼントをかうのに使うのもたまにはいいだろ
う。さて、この子に似合う栞はどんなのかな。全部木で出来ている
ものか、ステンドグラスのか。喜んでくれるかな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4488ba/>

栞

2012年1月12日01時58分発行